



学校だより

しいば川

嬉野市立轟小学校 学校教育目標

みんながつくる みんなの学校 ～自ら学び、「ミライ」をつくる～

第5号 2026(R8).8.25

文責:校長 北村 英



1 学期後半かスタート！

自分で決める、そしてチャレンジ!!

夏休みが終わり、学校に子どもたちの笑顔と元気な声が戻ってきました。38日間の休みの間に、家庭や地域でさまざまな経験をした子どもたちは、それぞれに心も体も一回り成長したと思います。夏休み中の事故やけが等の報告はあっておりません。元気いっぱい過ごせたことが何よりです!(^^)!

本日の「1 学期後半始まりの式」では、校長より1 学期の再スタートにあたり、これからの学校生活で子どもたちに大切にしたいことについて話をしました。それは、授業や宿題で**わからないことがあった時、そのままにしないこと**です。自分一人で考えてもわからない問題はあります。それは、だれでも一緒。その時どうするかが大事です。テキストに答えたり、答えだけを丸写ししたり・・・。わかったふりをしたり、そのまま放置したりしていませんか？そんなことを繰り返していたら、学習内容がどんどん理解できなくなり、自信もなくなっていきます。では、どうすればいいのか？答えはシンプルです。**「誰かに、自分が分かったと思えるまで教えてもらう」**ことです。友だちやおうちの人、先生に尋ねる。当たり前のように、なかなかできていない子どもたちも少なくないと思います。ここにこだわって欲しいということを伝えました。

こうした積み重ねが、子どもたちの「自分から学ぶ力」につながっていきます。本校が目指す主体的に学び続ける子どもの姿です。もちろん、最初から何でも自分でできるわけではありません。だからといって、先生が答えをすぐに与えるのではなく、子どもたちが自分で考えたり気付いたりする時間を大切に、必要な時にはそっと支える。そんな教師の関わりを大切にしながら、一人一人が安心して挑戦できる学校をつくっていきたいと思っています。

夏休み明けは、新しいことを始める絶好の機会です。「やってみよう」「ちょっと挑戦してみよう」「次はこうしてみよう」子どもたちのそんな気持ちを大切にしながら、一人一人の成長を学校全体で支えていきます。

今後も、保護者の皆様、地域の皆様とともに子どもたちの成長を見守ってまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「ファミリー読書イラスト・コンテスト」

本年度からの新たな取り組みの一つとして「ファミリー読書／家読（うちどく）」があります。親子で一緒に同じ本を読み、感想を伝え合う活動です。家族のコミュニケーションを深め、子どもの読解力を育む目的で全国的に進められています。夏休み明けからスタートします。これに先立って、その本を入れるバッグのデザインを子どもたちに考えてもらいました。素敵なバッグが完成しました。



「轟・発見」謎解きフィールドスタンプラリーについて

本日、プリントとマチコミメールでお知らせしておりますが、11月8日（日）の「嬉野市教育の日」に、『轟・発見』謎解きフィールドスタンプラリーを実施します。



これは、嬉野市市制20周年記念事業の一環で、嬉野市内の全小中学校がそれぞれ独自の取り組みを行うことになっています。

本校は、学校教育目標の重点目標に、「ふるさと轟の『人・もの・こと』に学び、誇りをはぐくむ『嬉野学』の推進」を掲げています。今回の取り組みを通して、親子で校区内の史跡や文化・自然に触れながら歩く体験を通して、地域のよさを発見・再発見するとともに、ふるさと轟への誇りを育む機会とすることを目的としています。

スタンプラリーについては、実行委員会を組織して、月1回ペースで協議を重ねています。

スタンプラリーで回るチェックポイントは、10か所を予定しています。いずれも校区内にある史跡などです。親子でチェックポイントを回って、クイズに答えていきます。総合得点によって、順位をつけ、上位者には豪華商品も準備します。



例年、「嬉野市教育の日」には、「轟小まつり」として、PTA主催のバザーや出店を行ってきました。本年度は、保護者の負担軽減のために、準備が大変な揚げ物などの食品の出店を取りやめました。その代わりに、PTAの各専門部のみなさんが子どもたちが楽しめるアトラクションを実施していただくことになりました。いつもとは違う轟小まつりになりますが、こちらも子どもたちが楽しめるものになるように、今後準備を進めていきます。保護者の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。